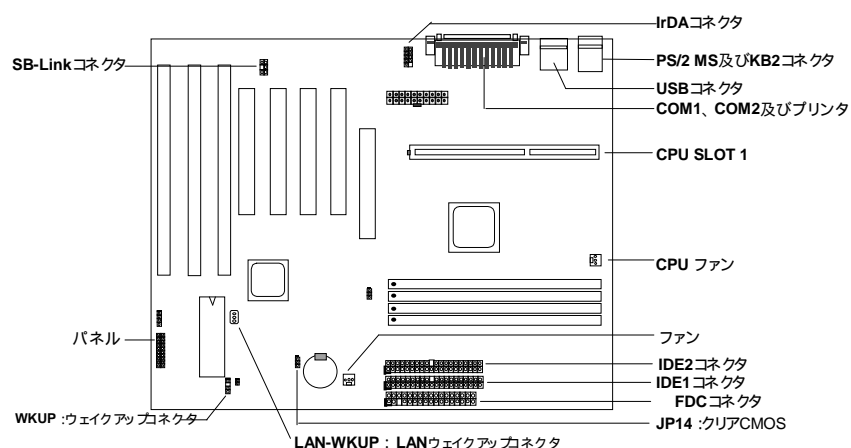


クイックインストールガイド

AOpen's AX6Bマザーボードをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。当ガイドは、マザーボードのシステムへのインストール方法を説明します。以下の図は、マザーボード上のジャンパー及びコネクタの位置を表します。:



AX6Bには以下のような特別機能がたくさん用意されています:

ジャンパーレスデザイン Pentium II VIDシグナルとSMBusクロックジェネレータがCPU電圧の自動検出を行い、CPUの周波数をCMOS設定プログラムを通して設定するようデザインされているので、ジャンパーやスイッチが必ずありません。

フル範囲CPUコア電圧 このマザーボードは1.3Vから3.5VのCPUコア電圧に対応しています。

バッテリーレスマザーボード AX6BはEEPROMと特別回線(特許取得)を備えているため、現在のCPUとCMOS設定をバッテリーを使うことなく保存することができます。RTC(リアルタイムクロック)は、電源が接続されている以上維持することができます。

ハードドライブへのサスペンド この機能は、作業中のファイルをハードディスクに保存し、すぐに作業を再開します。

ゼロ電圧モデムウェイクアップ システムを完全にオフにした状態で、ファックス受信や電話等により完全にコンピュータを呼び起こすことができる機能です。

RTCウェイクアップタイマー 日付と時間を決定し、システムを起動させるプログラムです。

過電流保護 CPU Vコア電流超過保護は、事故的に発生するショートを防止します。

CPU高温保護 CPUの温度が定められた温度よりも高くなると警告します。

CPUファン監視機能 システムはCPUファンの機能不全に対し、CPUのオーバーヒートを防ぐよう警告します。

システム電圧監視機能 この機能は、システムで使用されている電圧を常に監視します。

スイッチング・レギュレータ より高効率なCPU用のスイッチング・レギュレータです。

PCIサウンドカードコネクタ クリエーティブコンパチブルPCIサウンドカードをお持ちの場合は、カードをこのコネクタに接続して下さい。

FCC DoC認証 AX6BはFCC DoC検査を通過しています。放射線が極めて低いため、ご家庭でご利用になれます。



注: このクイックインストールガイドは参考のために提供されるものです。更に詳しくは、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

CPUコア電圧の設定

当マザーボードはPentium II VID機能に対応しています。CPUコア電圧は自動的に検出され、その範囲は1.3Vから3.5Vです。

クイックインストールガイド

CPU周波数の設定

CPU周波数は:

BOIS Setup à Chipset Features Setup à CPU Clock Frequency
(有効な設定は66、68.5、75、83.3、100、103、112、133.3MHzです。)

BOIS Setup à Chipset Features Setup à CPU Clock Ratio
(有効な設定は1.5x、2x、2.5x、3x、3.5x、4x、4.5x、5x、5.5x、6x、6.5x、7x、7.5x、8xです。)

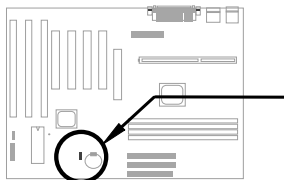
コア周波数 = 比率 * 外部バスクロック

INTEL Pentium II	CPU コア周波数	比率	外部バスクロック
Pentium II 233	233MHz =	3.5x	66MHz
Pentium II 266	266MHz =	4x	66MHz
Pentium II 300	300MHz =	4.5x	66MHz
Pentium II 333	333MHz =	5x	66MHz
Pentium II 350	350MHz =	3.5x	100MHz
Pentium II 400	400MHz =	4x	100MHz
Pentium II 450	450MHz =	4.5x	100MHz

<Home>キーを使ってCPU周波数設定を解除する

ご利用のシステムがオーバークロッキングを起こし起動しない場合は、<Home>キーを押して初期設定(233MHz)をロードして下さい。このスマートなデザインで、CPU周波数設定を簡単に削除することができます。この機能を使うには、まず<Home>キーを押してから、同時にパワーボタンを押して下さい。POST画面が表示されるまで<Home>キーから手を放さないで下さい。

CPUファンの接続

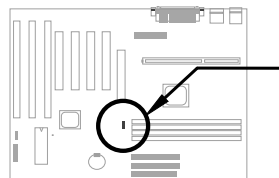


ファンケーブルを、3-ピンの**CPU FAN**または**FAN1**に接続して下さい。ファンコネクタは両方ともハードウェア監視機能をサポートしていますが、CPUファンコネクタのみを使ってファンをオン/オフにすることができます。

バッテリーレスマザーボード

環境保護のため、AOpen AX6BIは世界で初めてのバッテリーを必要としないマザーボードを設計しました。ATXパワーケーブルが接続されていれば、RTC(リアルタイムクロック)とCMOS設定はバッテリーを必要としません。ACパワーコードは、電源を切ったり、事故的にシャットダウンされた場合、CMOS設定とシステム設定がEEPROMに保存され、システムクロックだけを現在の時間を設定する必要がありました。

AGPターボ

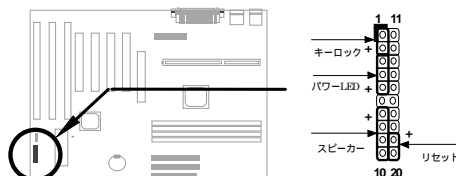


AGPの仕様は、最高で66Mhzクロックとなっていますが、JP23をセットしてサブクロックと同時使用することができます。但し、システムが不安定になる場合があります。

クイックインストールガイド

フロントパネルケーブルに接続

パワーLED、キーボード、スピーカーを接続し、スイッチコネクタを各ピンにリセットして下さい。



BIOS設定の初期値を呼び出す

BIOS設定モードに入るには、POST(パワーオン自己診断)の途中で **[DEL]** を押して下さい。 "Load Setup Defaults"を選択することをお勧めします。システムの部品(CPU、DRAM、HDD等)がターゲット設定に十分に対応できることが確かな場合を除き、"Load Turbo Defaults"は選択しないで下さい。更に詳しい情報については、ユーザーズマニュアルの"AWARD BIOS"をご覧ください。

WIN'95で"? "マークをなくすには

Intelは、"ACPI"、"USB" 及び"Ultra DMA/33"の最新版と共に430TXまたは440LXチップセットを紹介しています。これらのデバイスは非常に新しいため、1995年8月発売のWin95ではサポートしていません。この問題を解決するために、AOpenではAOchip.exeというユーティリティを開発しました。このユーティリティは、同封されているCDか、または私たちのウェブサイトで購入することができます。大変使いやすく、AOpenのマザーボードだけに使用が限られていないので、全てのTX/LXメインボードとの併用が可能です。このユーティリティを使用するには、aochip.exeディレクトリを実行して下さい。

Ultra DMA/33ドライバのインストール

バスマスターIDEモードに対応するには、バスマスターIDEドライバとバスマスターIDE HDDが必要となります。このドライバは、同封されたCDか、私たちのウェブサイトで購入することができます。また、このプログラムをインストールするためにsetup.exeを実行して下さい。

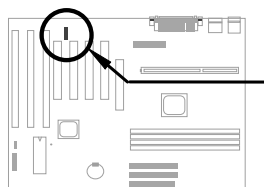


警告：このドライバをインストールすると、ハードディスクへのサスペンドに失敗することがあります。

CPU温度保護

CPUの温度が定められた値よりも高くなると、CPUの速度は自動的に遅くなり、PCスピーカーが音を発します。この機能に対応するため、AOpenソフトウェアチームは、ハードウェアモニターユーティリティを開発しました。これは、CPUの温度と電圧の監視を行います。このプログラムは、同封されたCDか、または私たちのウェブページで購入することができます。

PCIサウンドカードコネクタ



CreativeコンパチブルのPCIサウンドカードに接続するために、SB-LINKコネクタを使用しています。CreativeコンパチブルのPCIサウンドカードをお持ちの場合は、DOS環境における対応のために、カードをこのカードに接続して下さい。

ゼロ電圧モデムウェイクアップ

ATXソフトパワー-On/Offと併用することで、システムを完全にシャットダウンし、データ通信の呼び出し時などに自動的にシステムをスタートさせることができます。この新しいモデムウェイクアップ機能は、外部接続のモデムだけでなく、内蔵モデムにも活用することができます。AX6B及びMP56内部モデムカードは、特別な回路を使ってモデムカードが電源なしでも作動するように設計されています。モデムウェイクアップ機能について、更に詳しくは、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

クイックインストールガイド

ハードディスクのサスペンド機能

オプション 1: /fileスイッチを使用(FAT16ファイルシステム応用):

以下のコマンドを使い、ハードディスクへ一時停止する時に、システム状況とメモリーイメージを保存しますので、ハードディスクの中のルートディレクトリに隠しファイルを作成して下さい。

```
C:>AOZVHDD /c /file
```

隠しファイルを作成するために十分なHDDスペースがあることを確認して下さい。システムメモリが32MBで、VGAメモリが4MBの場合、少なくとも36MB(32MB+4MB)の連続ハードディスクスペースが必要となります。AOZVHDDがHDDスペースの作成に失敗した場合、MS-DOSやWin95と共に提供されている"DEFRAG"ユーティリティ、または"Disk Defragmenter"を使い、HDDスペースを調整して下さい。

オプション2: /partition スイッチを使用(FAT16/FAT32ファイルシステム応用):

ハードドライブへ一時停止のために、別のパーティションを作成するには、使用可能なパーティションが必要です。メモリ拡張のために十分なパーティションスペースを残しておいて下さい。例えば、システムメモリが32MBで、VGAメモリが4MBで、今後システムメモリを64MBまでアップグレードしたい場合、ディスクユーティリティ(fdisk等)を使い、68MB(64MB+4MB)のスペースを確保しておいて下さい。次に、以下のコマンドを使って一時停止パーティションを作成して下さい。

```
C:>AOZVHDD /c /partition
```

余分なパーティションスペースがなく、データを消去したくない場合は、パーティション方法を使用しないでください。詳しくはユーザーズマニュアルをご覧ください。

システムBIOSの更新方法

BIOSをアップグレードするには、以下の手順で行って下さい。

1. AOpenのウェブサイトから新しいBIOSバイナリファイル入手して下さい。例えば、AX6B110.BIN等です。
2. メモリハンドラー(EMM386等)やデバイスドライバをロードせずに、フロッピーディスクからシステムを起動させて下さい。
3. A:> AOFLASH AX6B110.BINを実行して下さい。
4. 新しいBIOSコードを呼び出すと、ユーティリティは本来のBIOSコードをHDDかフロッピーに保存するように警告します。"Y"を押し、"BIOS.OLD"として保存して下さい。
5. 古いBIOSを保存したら、"Y"を押しBIOSを置き換えて下さい。
6. "FLASHING"の際には、コンピュータの電源を切らないで下さい。
7. "FLASHING"の後に電源を切り、コンピュータを再起動させて下さい。
8. POSTの際に"DEL"キーを押し、BIOSセットアップにアクセスして下さい。
9. "BIOS SETUP DEFAULT"を呼び出し、その他の項目を同じように設定し直して下さい。
10. 変更を保存し、BIOSセットアップ終了してください。

詳しくは、ユーザーズマニュアルの"BIOSフラッシュユーティリティ"に関する項目をご覧ください。